

(1) 事業計画書

① 申請者の概要

担当者名	〇〇 〇〇		業 種	〇〇製造業		
メールアドレス	*****@++++.co.jp		電 話 番 号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
資 本 金	〇〇 千円		従 業 員 数	〇〇 名		
主な株主又は出資者 ※出資比率が高いものから上位3者を記載してください。 大企業の場合、大企業欄に○を記載してください。	①〇〇 〇〇		出資比率	60%	大企業欄	
	②△△ △△			15%		
	③株式会社〇〇			10%		
役員一覧	氏 名	役 職 名	生年月日	大企業欄 ※大企業の役職員を兼ねる者に○印		性 別
	〇〇 〇〇	専務取締役	19XX/mm/dd			男
	〇〇 〇〇	取締役	19XX/mm/dd			女
	〇〇 〇〇	取締役	19XX/mm/dd			男

(注1) 役員一覧は、役員数に応じて記載欄を適宜追加してください。

② 補助事業計画

1 事業計画名等

(1) 事業計画名 (30字程度)

「〇〇〇 (商品名)」の販路拡大事業

(2) 事業概要 (150字程度)

〇〇〇のパッケージデザインについて専門家のアドバイスを受けながら、高級スーパーをターゲットとして改良を行う。同時に、消費期限を延長するため真空包装機を導入し、細菌検査等の実験を行う。

改良した商品を〇〇〇ショーに出品し、新たな販路を開拓する。

2 事業の内容

(1) 販路開拓に取り組む認定品 (商品) 名

〇〇〇 (商品名)

※認定品を原料等に使用した商品の販路拡大に取り組む場合は、使用する認定品名と製造する商品名を記載してください。

(2) 事業内容

① 販路拡大のための具体的な方法

<現状>

〇〇〇 (商品名) は、これまで自店舗及び市内のスーパーを中心に販売を行っているが、平成〇年に大洲ええモンセレクトの認定を受けたことを機に、市外への販路拡大の可能性を探るため、大阪のイベントに出展し対面販売を実施した。

その際、試食したお客様の声から次のような課題が判明した。

<課題>

- ・ 食べてみれば美味しいが、今のパッケージではどのような商品かわからないので、知らなければ買おうと思わない。
- ・ 消費期限が短いので買うのをためらってしまう。
- ・ 量が多いので消費期限内に食べきれない。

これらの課題を解決するため、補助金を活用し以下の内容に取り組む。

<取組内容>

- ・ 専門家の指導を仰ぎながら、ターゲットの設定、商品規格、パッケージデザインの改良を行う。
- ・ 消費期限を延長するため、新たに真空包装機を導入し製造実験を行う。
- ・ 分析機関と連携し、消費期限の設定のための実験、分析を行う。
- ・ 改良後の商品を〇〇〇ショーに出品し、新たな販路を開拓する。

② 新たにターゲットとする市場ニーズとその市場規模

〇〇〇は、原材料にこだわった商品であることや従業員が少ないことから大手量販店や卸メーカーからの受注ロットに対応できないため、高級スーパーなど嗜好性の高い消

(1) 事業計画書

③ 認定事業に係る販売計画について

申請者： ○○ ○○

	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
売上量 単位 個	(目標値) 8,000 個	(目標値) 8,800 個	(目標値) 9,680 個	(目標値) 10,650 個	(目標値) 11,715 個
	(実績値) 個	(実績値) 個	(実績値) 個	(実績値) 個	(実績値) 個
売上高 ①	(目標値) 2,400 千円	(目標値) 2,640 千円	(目標値) 2,904 千円	(目標値) 3,195 千円	(目標値) 3,515 千円
	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円
売上原価 ②	(目標値) 1,200 千円	(目標値) 1,300 千円	(目標値) 1,400 千円	(目標値) 1,500 千円	(目標値) 1,600 千円
	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円
売上 総利益 ③=①-②	(目標値) 1,200 千円	(目標値) 1,340 千円	(目標値) 1,504 千円	(目標値) 1,695 千円	(目標値) 1,915 千円
	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円
販売費及び 一般経費 ④	(目標値) 480 千円	(目標値) 500 千円	(目標値) 520 千円	(目標値) 540 千円	(目標値) 560 千円
	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円
営業利益 ⑤=③-④	(目標値) 720 千円	(目標値) 840 千円	(目標値) 984 千円	(目標値) 1,155 千円	(目標値) 1,355 千円
	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円	(実績値) 千円
売上高 営業 利益率 ⑥=⑤÷①	(目標値) 30.0 %	(目標値) 31.8 %	(目標値) 33.9 %	(目標値) 36.2 %	(目標値) 38.5 %
	(実績値) %	(実績値) %	(実績値) %	(実績値) %	(実績値) %

(注1) 各項目の上段に目標値を記載し、下段に実績値を記載してください。

1 経費配分内訳

(単位：円)

経費区分・内訳	補助事業に 要する経費	補助対象経費	経費内訳	補助金 交付申請額
事業費				
① 専門家謝金、技術導入費、人材育成費	165,000	150,000	外部専門家謝金 @50,000円×3名	
② 旅費	165,000	150,000	外部専門家旅費 (東京-大洲) 1泊2日 @50,000円×2名 担当者旅費 (東京-大洲) 1泊2日 @50,000円×1名	
③ 産業財産権等取得費	0	0		
④ 委託費	0	0		
小計(事業費)	330,000	300,000		150,000
販路開拓費				
⑤ 展示会等出展費	330,000	300,000	□□□ショー出展経費一式 @250,000円 □□□ショー出展旅費一式 @50,000円×1名	
⑥ テストマーケティング費	0	0		
⑦ 広報費	66,000	60,000	パンフレット印刷費 @120円×500枚	
⑧ ウェブサイト関連費	0	0		
⑨ 委託費	0	0		
小計(販路開拓費)	396,000	360,000		180,000
試作・改良費				
⑩ 機械装置等費	594,000	540,000	真空パック処理機 @540,000円×1台	
⑪ 試作・実験費	67,650	61,500	菌検査等賞味期限実験 @61,500円	
⑫ 委託費	231,000	210,000	商品パッケージデザイン委託 @210,000円	
小計(試作・改良費)	892,650	811,500		405,750
合計	1,618,650	1,471,500	上段：小計の合計 下段：千円未満切捨	735,750 735,000

(注1) 必要に応じて記入欄を適宜追加してください。

(注2) 「経費内訳」には、詳細な当該経費の内容・積算を記入し、必要に応じて、各経費の内容が確認できる資料(仕様書、展示会等開催要項等)を添付してください。特に、経費内訳で「一式」としたものについては、別紙で詳細資料(任意様式)を添付してください。

(注3) 「補助金交付申請額」とは、「補助対象経費」のうち補助金の交付を希望する額でその限度は「補助対象経費」の2分の1以内とします。

2 資金調達内訳

区分	補助事業に要する経費（円）	資金の調達先
自己資金	383,650	
借入額	500,000	〇〇銀行〇〇支店
補助金	735,000	
その他	0	
合計額	1,618,650	

3 補助金額相当額の手当方法

区分	補助金額相当（円）	資金の調達先
自己資金	735,000	
借入額	0	
その他	0	
合計額	735,000	

（備考）補助金の支払いは、原則補助事業終了後の精算払いとなるため、補助事業実施期間中、補助金相当分の資金を確保する必要があります。

（注1）「1 経費配分内訳」内の補助事業に要する経費の合計額は、「2 資金調達内訳」内の合計額と一致させてください。

（注2）必要に応じて記入欄を適宜追加してください。

誓約書

- 私
 当社

は、下記 1 及び 2 のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴職において必要と判断した場合に、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

1 補助事業者として不適当な者

- (1) 暴力団（大洲市暴力団排除条例（平成 23 年 9 月 22 日条例第 22 号）第 2 条第 1 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（同条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 事業所の役員等（個人である場合はその者、法人その他の団体である場合は役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、当該団体に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。）をいう。以下同じ。）が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしているとき
- (3) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 補助事業者として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて補助事業を担当する県職員等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

大洲市長 **二宮 隆久** 様

令和 8 年〇月〇〇日

住所（又は所在地）
法人（商号）名
名称及び代表者氏名

〒〇〇〇-〇〇〇〇
大洲市〇〇〇〇〇番地
株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇